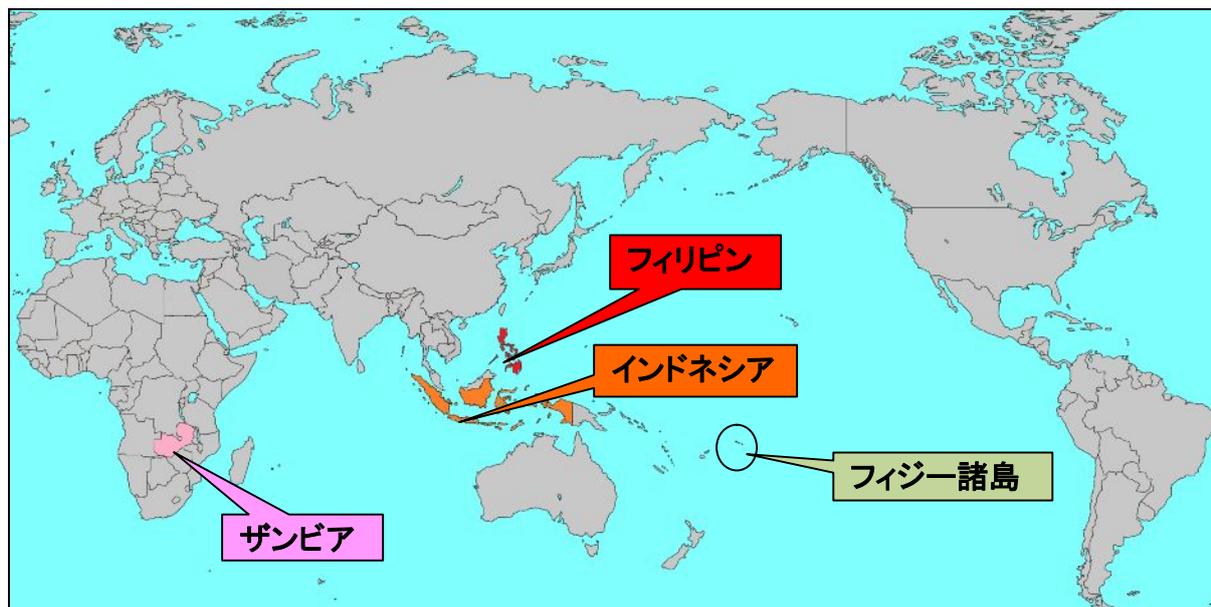


世界の腸チフス発生状況

2012年1月10日 ProMED 情報



(1) フィジー諸島(西部地域)

1月7日[Fiji Times]

Nanoko 地域の住民 922 名を調べたところ、42 名の患者が見つかりました。Nanoko 村が最も多く 18 名、次に Tuvavatu で 9 名、以下 Nubutautau 1 名、Nasauvakarua 5 名、Tokoni 2 名、Mare 3 名、Natoka 2 名、Todrokwadrokwa 2 名でした。主な原因として、慢性保菌者の存在、上下水道の不備、食物の安全対策の欠除、劣悪な衛生環境ということです。およそ 90% の家庭が地面に穴を掘っただけの不衛生なトイレを使用しています。

(2) フィリピン (レイテ Leyte 州)

1月4日[Manila Bulletin]

第8地区の保健局は、特にレイテ州の 4 つの町の住民に対し住環境を清潔に保つよう勧告しています。患者が発生しているのは Carigara、Capoocan、Tunga、Barugo で、特に Carigara では 102 名が報告されています。Tacloban 市の病院では患者が増加しています。しかしながら保健局は死亡患者の報告は受けていません。水源が汚染されていることが判明したため、住民に対し予防のため煮沸した水を飲むように指示しています。

(3) インドネシア(ジャカルタ)

1月4日[The Jakarta Globe]

インドネシア大統領スシロ・バンバン・ユドヨノ大統領の夫人が腸チフスに罹患し、ジャカルタの病院に入院し治療を受けています。病状は改善しているとのことです。

(4) ザンビア

1月9日[Zambia Daily Mail]

1月6日現在、2週間前からの流行で、ムフリア Mufuria の Mupambe 地区では、疑い患者を含む 2,094 名の患者が報告され、そのうち 119 名が入院し、79 名はすでに退院しています。また、これまでに 2 名が死亡しています。流行は徐々に落ち着きつつあります。